

雫石町のフレキシブルバスの実験運行について

岩手県立大学 正会員 元田 良孝
 雫石町 非会員 若林 武文
 同上 非会員 山口 善英

1. はじめに

平成14年2月から施行された改正道路運送法により、バス事業者は赤字路線からの撤退が原則自由になった。このため岩手県雫石町においても町内で起終点が完結する7路線が16年3月末で廃止となることとなった。町内の住民による雫石町生活交通対策提言委員会が開催され、代替交通手段が検討された。町民の簡易OD調査により、盛岡市との強いつながりが見出されたが、町内の交通は自宅から病院やスーパーのある町中心部との往復と、JR雫石駅を経由して盛岡などへの移動が多いことが明らかとなった。このため、町では既存のバス路線を基本とし、デマンド形式で運行する乗り合いタクシー方式のフレキシブルバスを計画した。この特徴はバスをNPOが運営し、タクシー会社に実際の運行を委託する形式である。これはデマンド形式としては自由度が低い、その分ローテクで、初期投資コストや運行コストを抑えることができる。この運行実験は平成16年4月1日から6月30日までの3ヶ月間の予定であり、結果については講演会で発表する。

2. 町民の移動実態の特徴

町民の交通実態を知るために平成15年9月に簡易OD調査を兼ねたアンケート調査を実施した。配布と回収は雫石町の統計調査員に依頼した。配布数は1500通、回収数は1345通で回収率は90%である。質問はバスの利用、バス利用に関する要望、よく行く目的地と頻度、交通手段などとなっている。自家用車の保有率は高く、世帯のうち93.2%が保有しており、そのうち2台以上保有は77%にも上っている。一方路線バスの利用は少なく、週1回以上利用する者は約6%である。バスを利用すると考えられる運転免許非保有者を対象に、目的地を頻度を考慮して集計したのが図1である。これは毎日利用するとした者に1、週2～3回は0.35等

とし、一日の移動量に変換したものを抽出率で割り町全体の推計量とした。図によれば雫石駅や小岩井駅など駅を経由する者が多く、これらの者はほとんど盛岡へ行くことが明らかとなった。町内では、町の中心地に位置する目的地が多く、周辺から駅を含めた中心地へ向かう交通が多いことがわかった。このため、バス路線は既存の雫石駅、役場など町中心部を中心とする放射状の路線でほぼ適当なことが明らかとなった。

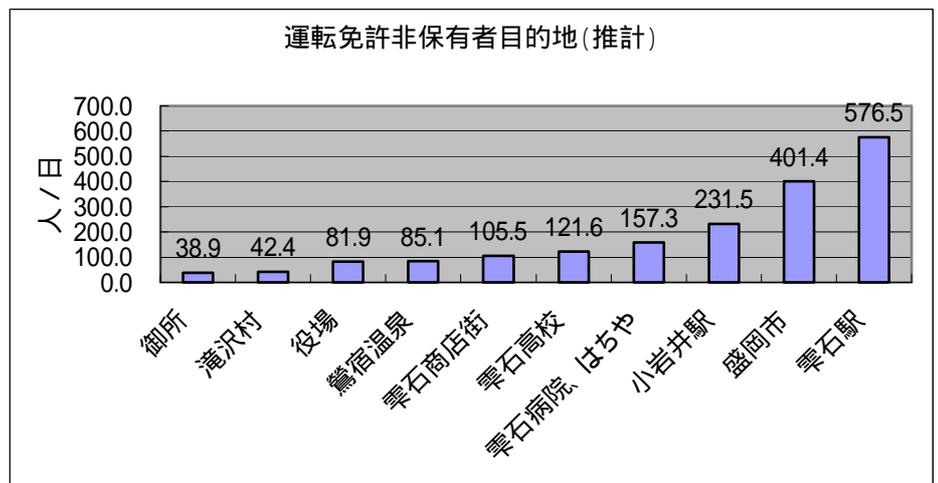


図1 運転免許非保有者の目的地別分布

3. システムの概要

(1) 運営組織

キーワード 公共交通、フレキシブルバス

連絡先 〒020-0193 岩手県滝沢村滝沢字菓子 152-52 TEL 019-694-2732

町はNPOに運営委託契約と予算の補助を行い、運營業務はNPO法人が、実際の運行業務はタクシー会社という分担で行う。バス路線の申請はタクシー会社が道路運送法4条で申請した。具体的な役割分担は以下のとおりである（図2）。

- 1) NPO：チケットの発行、苦情の処理、登録受付、ニーズ把握、停留所設置・管理、連絡調整
- 2) タクシー会社：運營業務、運行管理、予約受付
- 3) 町役場：運行委員会の開催、予算の補助

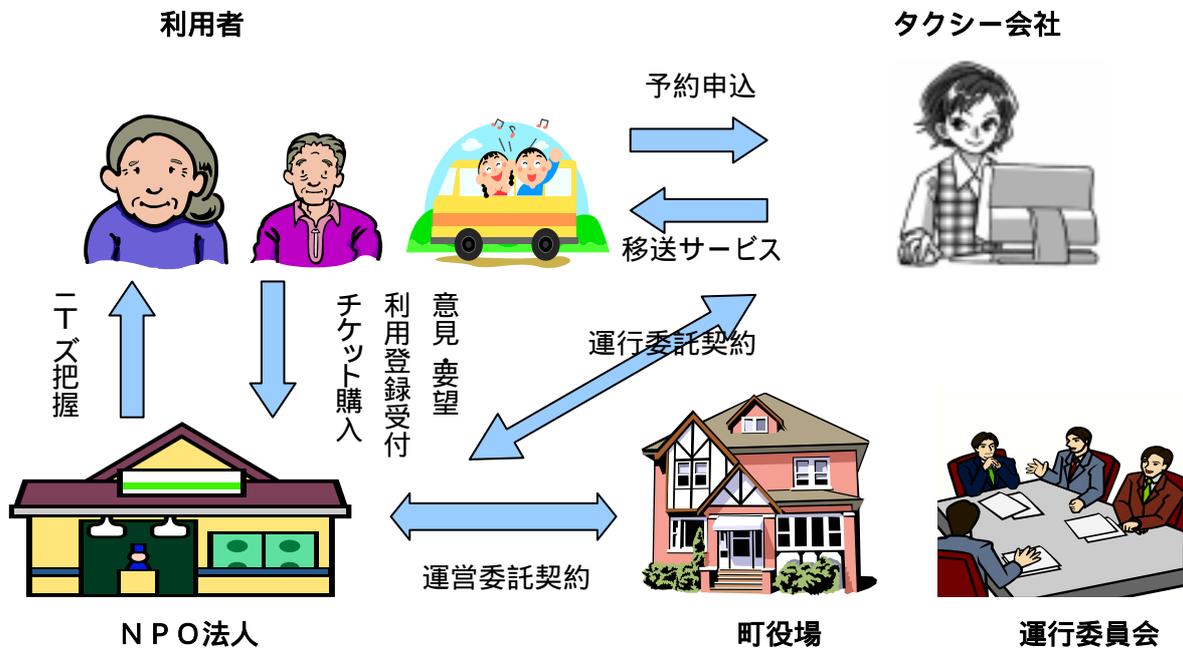


図2 運営組織

（2）運行方法

運行形態はフレキシブルバスで、路線の起終点、運行ダイヤ、停留所はあらかじめ定められている。当面は赤字撤退したバスの路線と停留所を利用するが、順次停留所を増やし、要請のある停留所だけを結ぶ運行形態に移行してゆく計画である。利用方法は、利用者は乗車1時間前までに電話により氏名、路線名、乗車希望便名、乗車停留所、降車停留所、利用人数などをタクシー会社内のオペレータに告げる。オペレータは要請に基づき配車を行う。利用料金は表1に示すとおり5km未満は300円、5km以上は400円であるが、身体障害者、学生は距離に関係なく200円に割り引いてある。運行は平日のみで、路線によって朝6時頃から夕方7時頃まで一日7～8便運行する。前述した調査により運転免許非保有者が駅をよく利用していることから朝の盛岡方面の電車の発車時刻に合わせて駅に到着するように、夕方は盛岡から到着する電車に合わせて駅を発車するようにダイヤを組んだ。

表1 運賃表

| 利用者 | 移動距離 | 利用料金 |
|--------------------|---------|------|
| 一般 | 5 km以上 | 400円 |
| | 5 km未満 | 300円 |
| 中高校生、65歳以上の高齢者、障害者 | 路線ごとに一律 | 200円 |
| 小学生 | 路線ごとに一律 | 100円 |

4. おわりに

過疎地のバスについては最近デマンド型が運行されるようになってきている。デマンド型は多くの種類があるが、その土地にあったシステムを構築する必要がある。雫石町のデマンドバスは自由度の比較的低いフレキシブルバスであるが、タクシー会社の簡易なシステムとノウハウで実施することが可能であり、他市町村の参考になるものと考えている。